

とうとうボストンを旅立つ日が来ました。研修8日目。この一週間お世話になった大学と寮に別れを告げてNYに移動します。集合時間厳守については、何度か伝えていましたが、疲れもあってか遅れてくる生徒がいました。

予定の時刻を少し過ぎて、バスはNYに向けて動き出しました。ボストンから約4時間、途中で渋滞にはまることもなく順調に到着し、最初に向かったのはタイムズスクエアです。昨夜この辺りは停電が起こったのですが、私たちが到着する頃にはすっかり回復していました。大型スクリーンが映し出す広告を横目に、バスは国際連合に到着しました。今日は日曜日なので、残念ながら加盟国の旗がたなびく姿は見られませんでした。しかし、時間に余裕があったので、国連の内部に入り各国から寄贈された作品を閲覧したり、ギフトショップをのぞいたりすることが出来ました。その後、再びタイムズスクエアに戻り、昼食を取りながらしばしの自由時間となりました。エネルギーで魅力のある街ですが、一方で危険も潜んでいます。移動中のバスの中で、歩くときの注意点や、危ない場所の見分け方のレクチャーを受けてもらいました。少し緊張した面持ちではありましたが、自由時間に入ると、短い時間ながら満喫することが出来たようです。その後マンハッタン島を南下し、バッテリーパークで自由の女神を遠目に見て、911メモリアルミュージアムに向かいました。アメリカ同時多発テロは生まれる前の出来事ですが、崩壊したビルの跡地にある大きな噴水に刻まれた亡くなった方の名前を見て、そのあまりの多さに息を吞んでいました。ミュージアムの中では当時のニュース映像や砂ぼこりにまみれた靴や服、ひしゃげた消防車が展示されています。凄惨な様子を見て、どれだけ痛ましい事件だったのか改めて思い知りました。言葉少なげに集まった一行は、気分を変えるべく少し歩きました。911メモリアルミュージアムからほど近い所にあるのが、ウォール街です。今日は日曜日なので観光客で溢れていますが、日ごろはビジネスマンが闊歩する証券取引所、NY連邦準備銀行を訪れました。重厚な建物は、まるで美術館のようです。経済や金融の中心地に触れ、本日の宿に向かいました。

この研修最後の締めくくりとして、NYで活躍する社会人4名にお越し頂き、ディナーを共にしました。金融、マスコミ、アパレル、コンサルタントとバラエティに富んだお仕事をしたゲストの方々です。日本語でのやり取りという事もあり、リラックスした雰囲気ですぐに話ができました。なぜ外国で働こうと思ったのか、どうやって英語を勉強したのか、NYの魅力は何か…。美味しい中華に舌鼓を打ちながら、会話は続きます。ゲストの方に共通しているのは、自信に溢れた魅力的な雰囲気です。「自分とは違って出来る人に違いない」と思うところですが、お話を伺うと全く違っていました。渡米した直後は英語が出来ず、コミュニケーションにも苦労したようです。「自分を変えたい!」という意思のもと英語を学び、日本とは異なる社会の中で徐々に自分の地位を確立していったと伺いました。目の前にいるキラキラしたゲストの方々も、最初からうまくいっていたわけではありません。その事を聞き、「いつか自分もこんなふうに世界を相手に仕事がしたい…」と思った人は少なくありません。

ゲストの方々がお帰りになった後、自主的に集まりミーティングが行われました。この研修を通して自分たちができなかったことについて話し合ったようです。ある生徒さんは「どんなにルールやシステムを整えても、一人ひとりが責任感を持たないと同じことが繰り返される。」では責任感をもつとはどういうことなのか? どうすれば今の状況を改善出来るのか。同席はしなかったのですがどのようなミーティングになったかは分かりませんが、本日は一人一人の生徒がやるべきことをしっかりと実行できていました。以上、アメリカ研修のご報告とさせていただきます。

国際連合



タイムズスクエア



多くの人が行きかうタイムズスクエアに圧倒



限りなく小さく写った自由の女神の前で



911、変形した鉄骨



911、名前が刻まれた噴水

